

萩の台地区グリーンスローモビリティ導入実証事業について

1. 前回協議会からの進捗等の報告

令和 6 年 10 月 3 日（木）より運行を開始し、11 月末時点で延べ 236 人の利用がある（14 日間の利用結果）。

11 月に開催した地元での会合（ワークショップ）では、運行ルート・ダイヤの見直し等に関する話し合いを行い、新たな運行ルート・ダイヤを作成した。令和 7 年 1 月 6 日（月）より、新たな運行ルート・ダイヤでのリスタートを予定している。

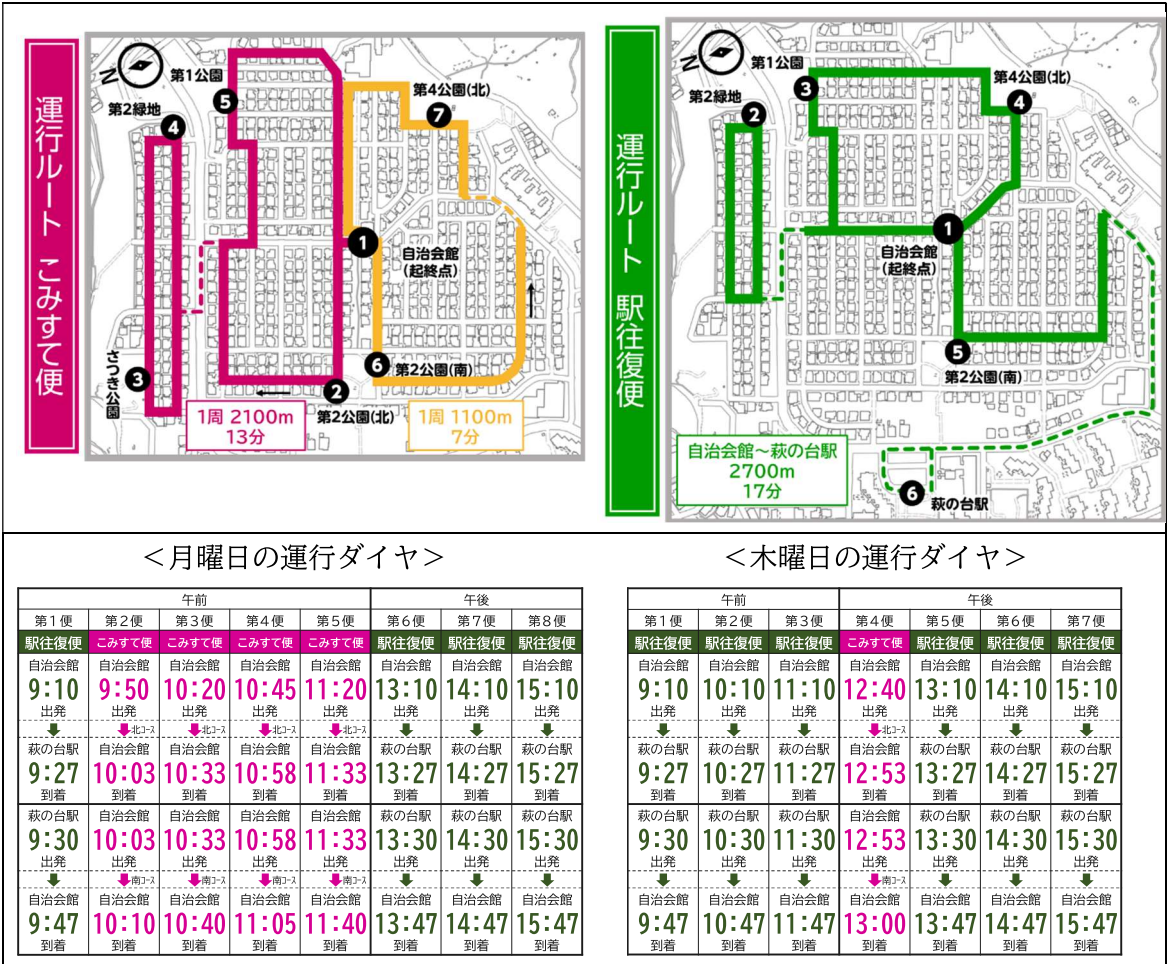
本日の協議会では、本実証運行の効果検証方法など今後の動向について報告する。



<運行の概要>

- ・ 運行主体：萩の台住宅地自治会を中心とした地元住民（ボランティア輸送）
- ・ 運行期間：令和 6 年 1 0 月 3 日（木）～令和 7 年 3 月 3 1 日（月）
- ・ 運行日：月・木曜日（平日運行／たけまる号の運行していない曜日）
- ・ 運行時間：午前便）9：00～12：00 午後便）13：00～16：00
- ・ 運行種類：定時定路線
- ・ 運行経路：萩の台住宅地内を運行し、萩の台駅や萩の台自治会館を往復する
- ・ 乗降場所：萩の台住宅地内は自由乗降、萩の台住宅地外は、萩の台駅のみ停車
- ・ 運行車両：ヤマハ発動機 A R - 0 7（電動カート公道仕様の 7 人乗り車両）
- ・ 運行便数：1 日 7 ～ 8 便（1 時間 1 便程度）
- ・ 運賃：無料
- ・ 愛称：はぎくる

<10 月～12 月のルート及びダイヤ>



<月曜日の運行ダイヤ>

午前					午後		
第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便
駅往復便	こみすて便	こみすて便	こみすて便	こみすて便	駅往復便	駅往復便	駅往復便
自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館
9:10	9:50	10:20	10:45	11:20	13:10	14:10	15:10
出発	出発	出発	出発	出発	出発	出発	出発
↓	↓北へ	↓北へ	↓北へ	↓北へ	↓	↓	↓
萩の台駅	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	萩の台駅	萩の台駅	萩の台駅
9:27	10:03	10:33	10:58	11:33	13:27	14:27	15:27
到着	到着	到着	到着	到着	到着	到着	到着
萩の台駅	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	萩の台駅	萩の台駅	萩の台駅
9:30	10:03	10:33	10:58	11:33	13:30	14:30	15:30
出発	出発	出発	出発	出発	出発	出発	出発
↓	↓南へ	↓南へ	↓南へ	↓南へ	↓	↓	↓
自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館
9:47	10:10	10:40	11:05	11:40	13:47	14:47	15:47
到着	到着	到着	到着	到着	到着	到着	到着

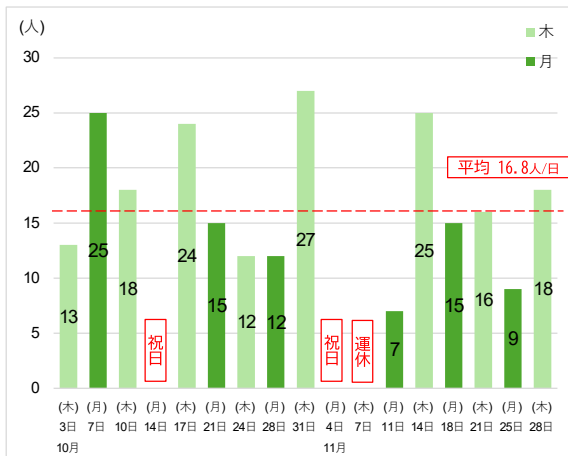
<木曜日の運行ダイヤ>

午前			午後			
第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便
駅往復便	駅往復便	駅往復便	こみすて便	駅往復便	駅往復便	駅往復便
自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館
9:10	10:10	11:10	12:40	13:10	14:10	15:10
出発	出発	出発	出発	出発	出発	出発
↓	↓	↓	↓北へ	↓	↓	↓
萩の台駅	萩の台駅	萩の台駅	自治会館	萩の台駅	萩の台駅	萩の台駅
9:27	10:27	11:27	12:53	13:27	14:27	15:27
到着	到着	到着	到着	到着	到着	到着
萩の台駅	萩の台駅	萩の台駅	自治会館	萩の台駅	萩の台駅	萩の台駅
9:30	10:30	11:30	12:53	13:30	14:30	15:30
出発	出発	出発	出発	出発	出発	出発
↓	↓	↓	↓南へ	↓	↓	↓
自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館	自治会館
9:47	10:47	11:47	13:00	13:47	14:47	15:47
到着	到着	到着	到着	到着	到着	到着

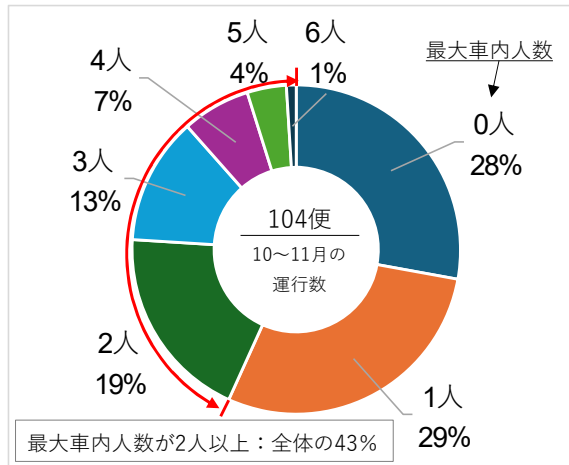
※ルート図の実線区間が自由乗降区間。

<利用状況>

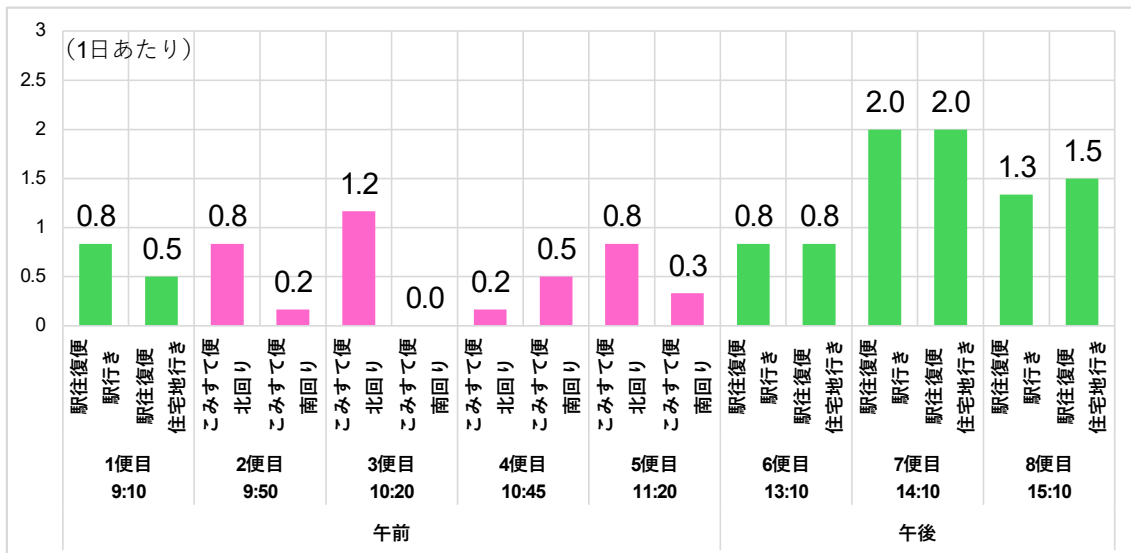
<1日あたりの利用者数の推移>



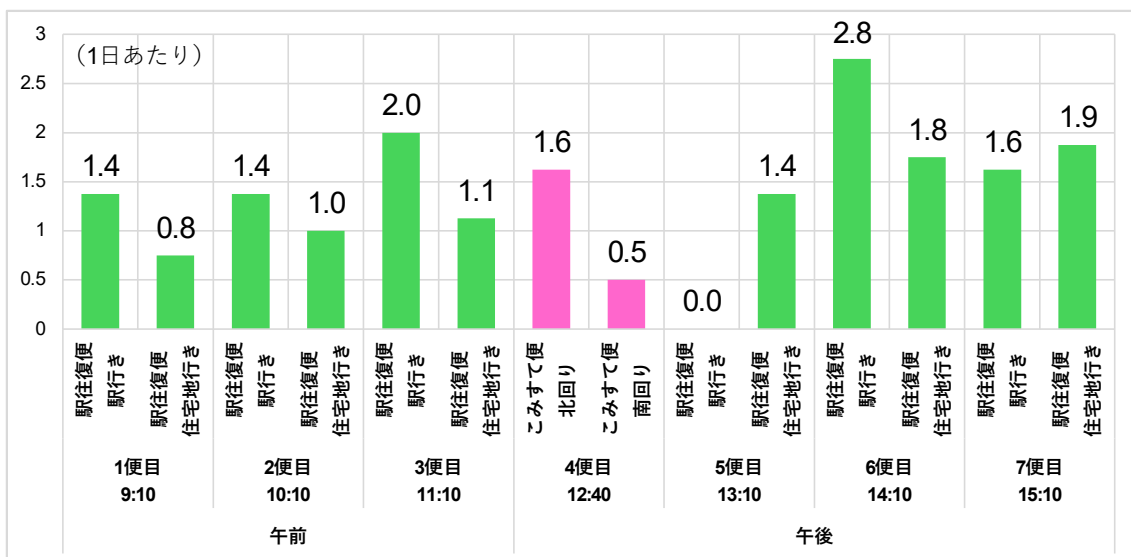
<1便ごとの最大車内人数の状況>



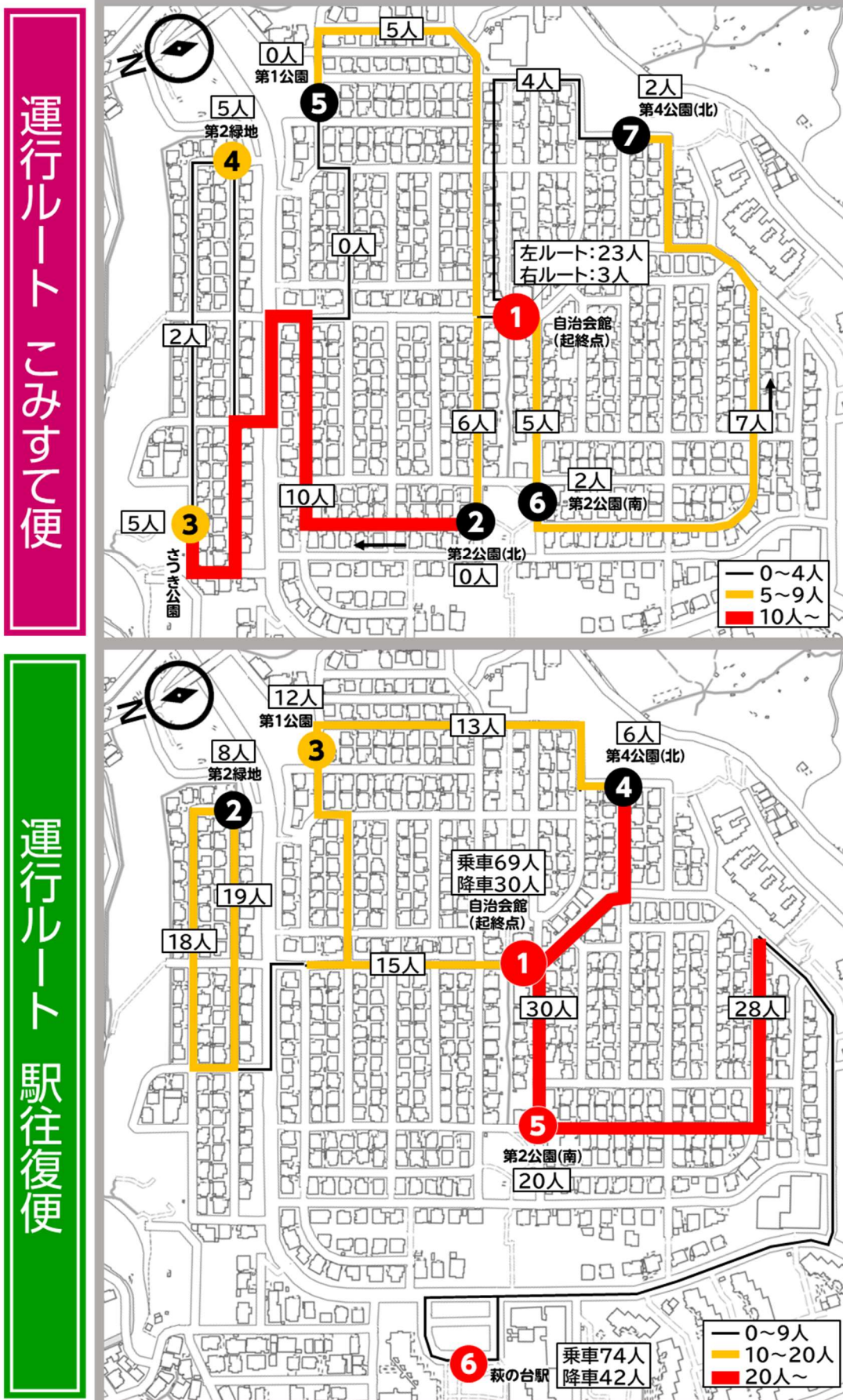
<月曜日の1日あたりの利用者数>



<木曜日の1日あたりの利用者数>

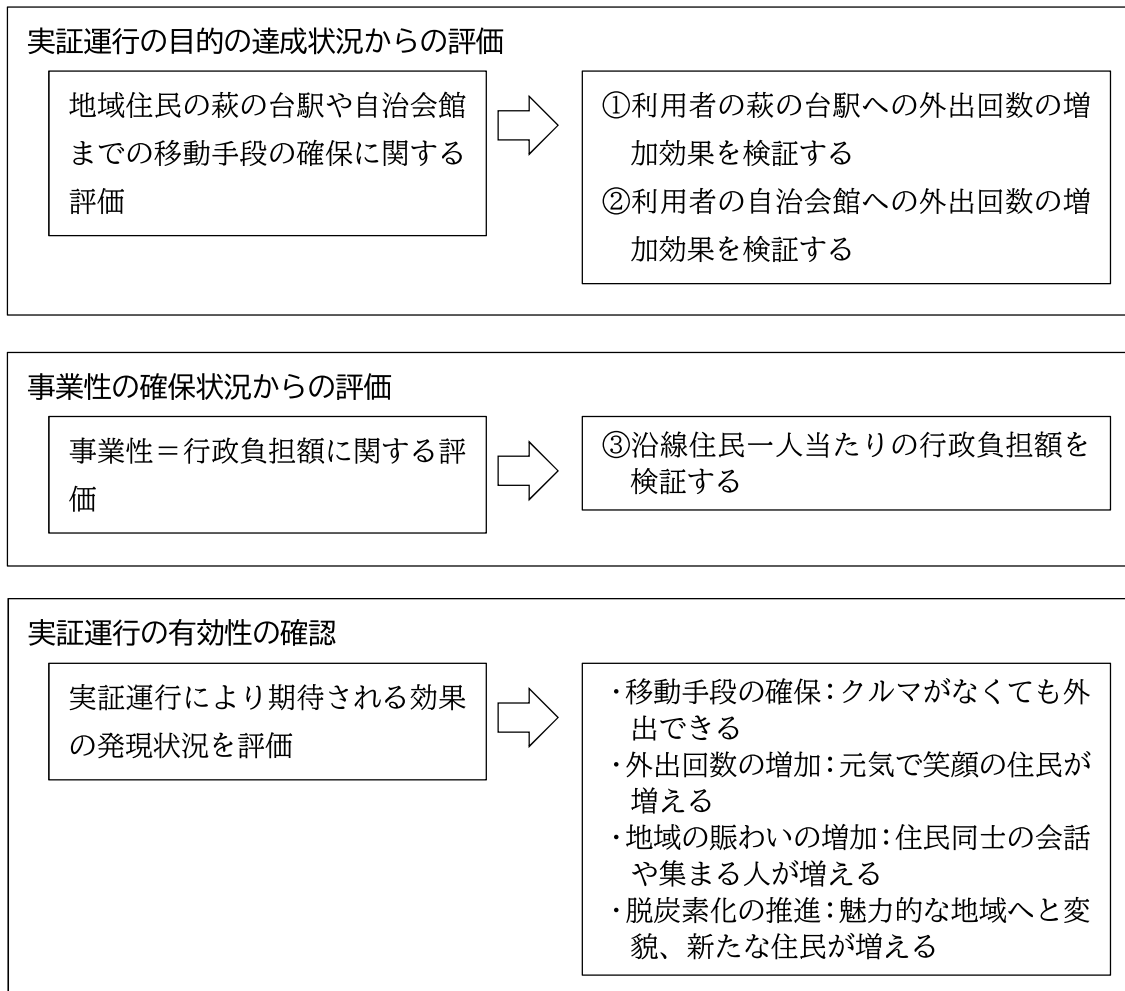


<乗降場所別の利用者数（延べ利用者数）>



2. 実証運行の評価検証の方針

本実証運行の評価は、実証運行の目的※1の達成状況と事業性の確保の観点から行う。また、運行の継続については、実証運行が地域にとって有効であることが確認でき、かつ、地域からの継続意向がある場合に、次年度も引き続き運行を継続するものとする。



(※1 参考：実証運行の目的)

- ・たけまる号萩の台線の運行日を縮小したことを受け、当該地域に適した移動手段を検討する。
- ・今回検証を試みる「グリーンスローモビリティ」によって、地域住民の萩の台駅や自治会館までの移動手段の確保を図る。
- ・加えて、まちづくりとの連携を図り、地域活力の一層の増進、持続可能な次世代の住宅地づくりを推進する。※地域の交流の場「こみすて」～「いこーえん」～「住み開き」の交流促進や脱炭素先行地域に適したモビリティの導入(再生可能エネルギーの活用)。

(令和 6 年度第 2 回生駒市地域公共交通計画活性化協議会当日資料等から抜粋)

今回の実証運行を受けて、市内他地域への横展開の可能性検証については、生駒市地域公共交通計画に示す通り「市民の日常生活における活動機会の保障」を基本的な考え方とし、住宅地内などでラストワンマイルとしての移動手段を必要とする地域（将来の交通体系図※2 の端末交通エリア）を対象としつつ、地元（自治会等）が主体となって運行体制の構築、日々の運行の実施ができる熱意のある地区で検討を進める。

なお、今回の萩の台地区では、次のような運行体制や役割分担の基、実証運行を行っている。

運行管理	萩の台住宅地自治会（運行管理者：自治会長）
運行主体	萩の台住宅地自治会（運転手 11 人、添乗員 8 人）
運転手条件	自家用有償旅客運送の大臣認定講習受講者に限る
車両点検	日々の点検は運転手と添乗員が実施 （車検や 1 年点検等はプロの整備事業者へ依頼）
運行前点呼	運転手と添乗員がお互いを確認
運行記録	運転手と添乗員
車庫	自治会館駐車場を使用
充電	自治会館の電源を使用（充電作業と電気代は運行主体が負担）
広報や案内	萩の台住宅地自治会が中心となり実施
行政の役割	車両貸出、保険加入、講習会費用負担、運営の支援等

（※2 参考：将来の交通体系図）

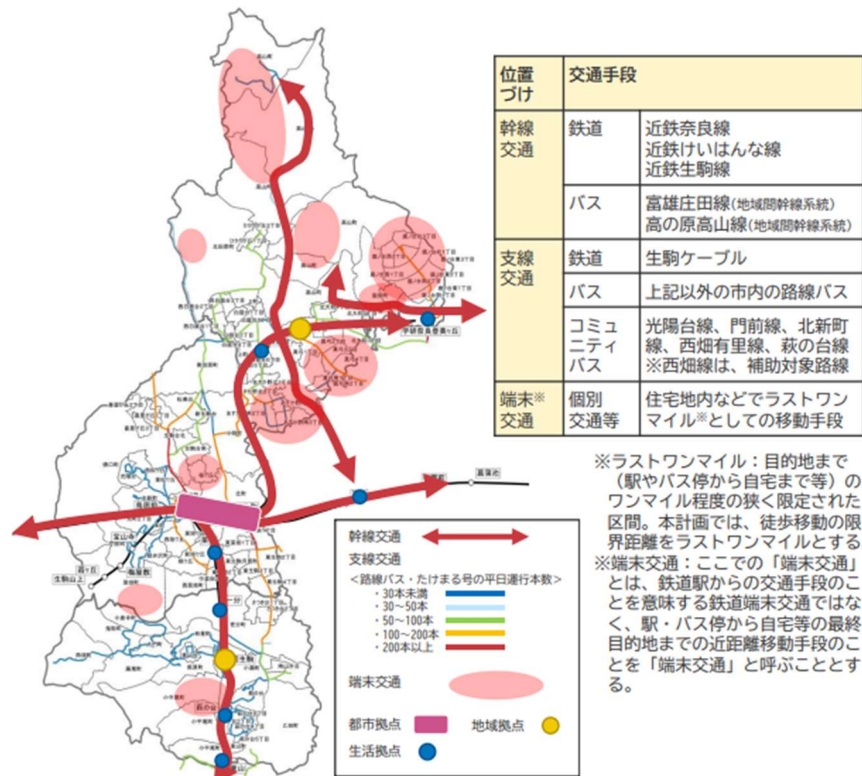


図 将来の交通体系図

（生駒市地域公共交通計画概要版から抜粋）

3. 評価に向けた調査の実施

①実証運行の目的の達成状況の評価

- a. 萩の台駅や自治会館までの萩の台住宅地の地域住民の移動手段確保
 ・ ・ ・ 移動手段確保の評価として、対象施設への外出回数の変化で評価する
 (指標)

指標	調査	評価
①利用者の萩の台駅への 外出回数の増加	アンケート調査結果を使用	利用者の外出回数 の変化を確認
②利用者の自治会館への 外出回数の増加	アンケート調査結果を使用	利用者の外出回数 の変化を確認

②事業性の確保の評価

- b. 沿線住民一人当たりの行政負担額
 ・ ・ ・ 運行にかかる費用のうち、生駒市が負担した費用について、沿線住民 1 人あたりの
 金額で評価する
 (指標)

指標	調査	評価
③沿線住民一人当たりの 行政負担額	運行実績のデータを使用	たけまる号の沿線 住民 1 人あたりの 行政負担額と比較

4. 住民アンケート調査の実施概要

実証運行の効果把握等に向けて、地域住民を対象としたアンケート調査を実施する。

①調査対象	・萩の台 2 丁目～4 丁目の住民への全戸配布 ・回答は高校生以上を対象	
②調査方法	【配布】 郵送配布 【回収】 郵送回収	
③調査時期	【配布】 12 月 9 日～ 【回収】 12 月 28 日を回答締切とする	
④配布数	・1 世帯につき 1 部配布：約 700 部	
⑤調査項目	分類	調査項目
	普段の外出行動	・ 1 週間の外出日数 ・ 公共交通とマイカーの利用回数 ・ 外出を諦めたことの有無
	グリスロの認知度と利用状況	・ 認知度と利用状況（知っている、見たことがある、乗ったことがある） ・ 外出行動の変化状況 ・ 利用していない理由
	グリスロの受容性	・ 歩行者の立場として不安感の変化 ・ 自動車の立場として不安感の変化
	今後の継続意向	・ 地域にとっての有効性 ・ 地域にとっての影響（整備効果） ・ 今後の継続の意向
	個人属性	・ お住まい（組 or 丁目）、居住年数 ・ 性別／年齢 ・ 家族構成（独居の確認） ・ 自動車免許保有状況

5. 利用者アンケート調査の実施概要

実証運行の効果把握等に向けて、実際の利用者を対象としたアンケート調査を実施する。

①調査対象	・ グリーンスローモビリティ利用者	
②調査方法	【配布】 ドライバーや添乗員から利用者へ直接配布 【回収】 ドライバーや添乗員へ手渡し/自治会館に回収ボックスを設置	
③調査時期	【配布】 11/25 から 3 週間程度を配布期間とする 【回収】 12 月 22 日を回答締切とする	
④配布数	・ 利用者 1 人につき 1 部配布：約 50 部	
⑤調査項目	分類	調査項目
	グリスロの利用状況	・ 利用頻度、移動目的 ・ 以前までの交通手段
	外出行動の変化状況	・ 外出行動の変化状況 ・ たけまる号の利用の変化状況
	グリスロの運行内容の評価	・ 運行内容の評価（乗り心地、乗降のしやすさ、運行時間帯 等） ・ 地域にとっての有効性 ・ 地域にとっての影響（整備効果）
	個人属性	・ お住まい（組 or 丁目）、居住年数 ・ 性別／年齢 ・ 家族構成（独居の確認） ・ 自動車免許保有状況

6. 今後のスケジュール

(令和 6 年度)	
12 月	住民アンケート調査の実施／利用者アンケート調査の実施
↓	ルートとダイヤの見直しに向けた地元協議
1 月	新しいルート・ダイヤでの運行開始（1/6～）
↓	利用者アンケート調査の実施（1 月後半予定）有料化に関するニ
↓	ーズ把握（支払える金額の確認、コミバスとグリスロの使い分け
↓	の状況把握等）
↓	※コミバスの萩の台線利用者への調査も実施
↓	運行主体へのグループインタビュー調査の実施（1 月後半予定）
2 月	地元住民への実証運行の報告会
↓	
3 月 19 日	評価検証の報告（協議会）